

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	譚譚グループホーム
日付	平成17年2月8日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	特別養護老人ホームでの痴呆性高齢者介護歴 3年 在宅介護支援センター等での相談援助歴 11年
<a href="#">自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）</a>	
<b>事業者のコメントを見る</b> （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

#### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して（特に良いと思われる点など）
『生きている限り人間らしく』という理念に基づいて、管理者・スタッフ全員が一人ひとりを尊重する姿勢で関わっています。
利用者が持っている機能を使って、一人ひとりが出来る事を大切に支えながら、生活を楽しく快適に過ごしてもらえよう職員が考えながら、日々の生活介護をしています。
自主評価を前向きに取り入れ、活動の方向性や質の向上のために活用され、管理者やスタッフの向上心の高さが感じられました。
スタッフ全員が明るく入居者とのコミュニケーションを大切に関わっています。
笑いのある生活、寝たきりにさせない努力をしています。
特に改善の余地があると思われる点
食事の献立や買い物など、利用者の希望に添ったものの提供が、すぐに出来ないようでした。
持ち込み家具が少なく、また、全体的に装飾等が施設的に感じられます。もう少し家庭的な雰囲気を出す工夫が必要ではないでしょうか。
入居者の機能面の評価は細くなくされ、記録として残されていますが、心の面（表情・喜びなど）の評価を記録として残し、スタッフ同士で情報の共有が図られると良いのではないのでしょうか。

#### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 『生きているかぎり人間らしく生きてほしい』というモットーの下、利用者一人ひとりを尊重しながら、寄り添う介護を行っており、ホームでの生活を安心して快適なものとなるようにサポートしています。 一人ひとりとコミュニケーションを持ちながら、明るく楽しい生活が送っていただけるようにと考えながら介護しています。 生活の中で利用者が持つ力を発揮できるように工夫しています。 利用者・家族の希望があれば、終末ケアにも取り組んでいます。		

#### ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 生活歴の中で趣味として経験してきたこと（習字や生花など）を継続してできる環境を整えています。 日中、部屋の入り口のドアは利用者の動きに応じて開閉を行っています。夜間も利用者の気持ちに応じて開閉するなど工夫が見られ、細かく取り組む努力が見られました。 排泄の介助の際はドアをきちんと閉めるなどの対応をしています。 人に聞かれて「恥ずかしいなあ」とスタッフ自身が思うようなことは、入居者にも配慮し声かけを行っています。		

#### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周リや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 一人ひとりの状態をよく把握し、その人の個性・人間性を早く知るようにして、その人が落ち着くような関わりを持つように努力しています。		

#### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせて調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

#### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 職員が情報を共有するように苦情ノートや伝達ノートをしっかり活用して、事実を伝え、教訓から学び、再発防止に意思統一できています。 緊急時のマニュアルや対応がしっかりできていました。 問題や事故があったときは、原因究明のため話し合いを行い防止に努めるようにしています。		